

栃木県総合教育センターだより

学びの杜通信

第30号 平成29年2月10日発行



栃木県教育研究発表大会レポート **広げます**

平成28年度栃木県教育研究発表大会〔1月27日（金）・28日（土）〕が、延べ1013名の御参加をいただき、盛会のうちに終了しました。御発表、御参加いただいた皆様、御協力いただいた関係機関の皆様には厚くお礼申し上げます。

19の部会において、県内の学校等による先進的な実践発表や、発表に基づいた研究協議が行われました。

今年度は、学習指導要領の改訂を間近に控え、学力向上の気運がさらに高まる中、二つの学力向上部会を設けました。また、生涯学習部会では、「学校と地域の連携協力を推進するために-学校支援のためのコーディネーターが果たす役割と効果-」というテーマで学校と地域のよりよい連携・協働を推進するためのコーディネーターの在り方について考えました。コーディネーターの活動が充実することにより、学校の教育活動が充実するだけでなく、地域の活性化や地域づくりにつながることを確認することができました。

なお、「とちぎの教育未来塾」からは延べ176名の塾生の参加があり、現職の先生方と真剣に意見を交わされている様子が見られました。1年で最も寒い時季でしたが、どの会場も熱気にあふれていました。

大会当日の様子を、後日、当センターWebサイトから公開しますので、是非、御覧ください。

→Click! <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/kensyu/h28-kenkyu/>



【問合せ先】 研究調査部（TEL 028-665-7204）



生涯学習部会での協議の様子

第70回栃木県理科研究展覧会並びに発表会 **支えます**

「第70回栃木県理科研究展覧会並びに発表会」の中央展覧会審査が2月3日（金）に行われ、4日（土）、5日（日）にわたり栃木県子ども総合科学館にて展示が行われました。応募総数3,591点の中から89点が中央展覧会審査会に出品され、そのうち27点が最優秀賞に輝きました。応募された作品はどれも大変すばらしいものでした。

今回の展覧会に展示された研究の傾向として、研究の流れにストーリー性があり、わかりやすく表れている作品、継続研究で以前疑問に思ったことを解決するために多くのデータを集めた作品、パソコン等ICTを上手に活用しグラフを作成している作品が多く見られました。

中央発表会は、2月16日（木）に栃木県総合教育センターで行われます。応募総数80点の中から13点が中央発表会審査会で発表されます。この中央展覧会と中央発表会で選ばれた最優秀賞の受賞者に対し、表彰式が2月16日（木）に栃木県総合教育センターで行われます。

なお、第70回栃木県理科研究展覧会並びに発表会の結果については、栃木県総合教育センターホームページから閲覧することができます。

→Click! <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/tenrankai/h28-rikakenkyu/tenrankai.htm>



【問合せ先】 研修部（TEL 028-665-7202）



中央展覧会展示の様子

○この通信に関する御意見・御感想をお待ちしています。入力・送信は [こちら](#) から

・センターホームページ（TOP）は、[こちら](#) ・学びの杜通信のバックナンバーは、[こちら](#)